



**平成30年度  
エネルギー地産地消事業化モデル支援  
コーディネート業務  
【今年度業務の実施方針】**

2018年 7月2日  
株式会社 日本総合研究所

## 1. 業務の目的

- ・本事業は、北海道庁が今年度に設置した「**北海道新エネルギー導入加速化基金**」を活用し、本町におけるエネルギー自給・地域循環の取組を促進するため、地域の特性に応じたエネルギー資源を効果的・効率的に利用し、地域におけるエネルギーの地産地消の事業化に向けた取組を進めていくものである。
- ・貴町は、昨年度、総務省事業として「平成28年度弟子屈町分散型エネルギーインフラプロジェクトマスタープラン」を策定した。今年度は、本マスタープランの事業化を目的として、事業主体とともに、事業実施計画及び実現可能性の調査・検討を行う。
- ・上記マスタープランでは、貴町とともに地域エネルギー事業を推進していく事業体を、「地域主導」で立ち上げ、その地熱資源の恩恵を最大限町内に還元していく事業スキームを想定している。そのため、本町は、その新たな**地域事業体「弟子屈ジオ・エネルギー・カンパニー（略称T-GEC、仮称）」**とともに、今後の事業の柱となる、「温泉給湯事業」「温泉バイナリ発電事業」、さらに別途調査検討を進めている「地熱フラッシュ発電事業」を5か年で推進する。
- ・本業務は、その事業推進に向けたコーディネートを行うものである。

## 2. 事業全体のイメージ(H29年度申請時点)

- ・弊社業務を含め、本事業全体において、現時点で想定している5カ年の事業スケジュールイメージは以下のとおり。給湯事業、バイナリ発電事業を先に事業化する。
- ・フラッシュ発電事業は国事業を活用しながら並行して調査・検討し、H33年度以降の運転開始に向けて検討・調整を進める。
- ・これらの進捗管理及び相互調整を行うことも弊社の役割と認識。

5カ年の事業予定（申請時点）

	H29	H30	H31	H32	H33
コーディネート	事業体と町の協議支援				
	事業計画策定				
	新規需要立地検討				
		事業モニタリング			
給湯事業 バイナリ発電事業	配湯フロー検討・効率化検討・FS 源泉調査、温度検層、解析、 経済性検討、掘削計画策定	許認可申請、関係者調整  将来需要・給湯量を踏まえた配湯フロー及び 整備計画、事業費試算 坑井掘削・解析評価	給湯管、貯湯槽等基本 設計 噴気試験	給湯管等整備 ※複数年で段階的整備予定	
			EPC発注準備 系統連系協議	EPC（バイナリ発電 設備施工）	試運転・運転
フラッシュ発電	フラッシュ試掘・噴 気試験	環境影響調査 系統連系調査	EPC発注準備 事業スキーム検討	EPC（フラッシュ発電設備 施工）	試運転・運転

### 3. 今年度のコーディネート業務内容

#### (1) 地域エネルギー事業体と町の協議支援

本町内では、すでに地元事業者が主体となり、地域事業体の立ち上げが進められており、平成29年度には、地域事業体の事業計画案の策定を行っている。今後、エネルギー事業内容を具体化・詳細化するにあたり、町との役割分担、リスク分担などを協議しながら、事業を進めていくこととなるため、町と事業体の協議支援を行う。

- ア 地域事業体と町の協議への同席、助言、調整
- イ 協定締結等に向けた支援、助言

#### (2) 弟子屈ジオ・エネルギー事業実施計画の見直し

平成29年度に策定した事業実施計画について、今年度以降の調査結果を踏まえて、適宜修正を行う。

#### (3) 新規需要立地可能性検討業務

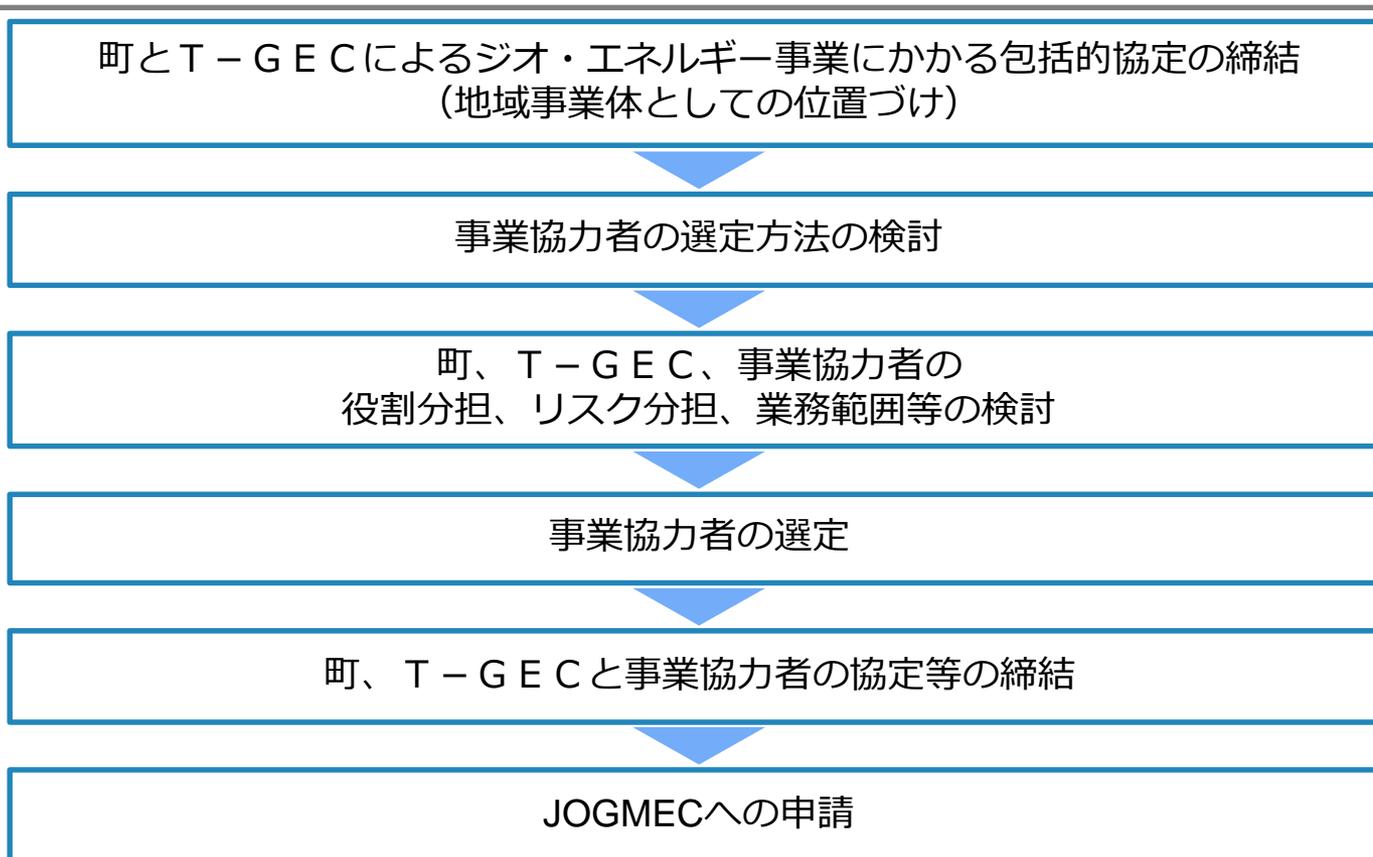
平成29年度の新規需要施設の官民連携手法による事業化検討の結果を踏まえ、それらの事業化に向けた庁内合意形成及び民間事業者の意向把握などを行い、事業化のプロセス整理及び課題整理を行う。

## 4. 業務のポイント①

### (1) 地域エネルギー事業者と町の協議支援

- ・今年度のJOGMECの掘削事業申請にあたり、町とT-GECの事業協定の締結、及び協力事業者の選定を進めることが求められている。
- ・そのため、その事業協力者選定に係る支援を行う。

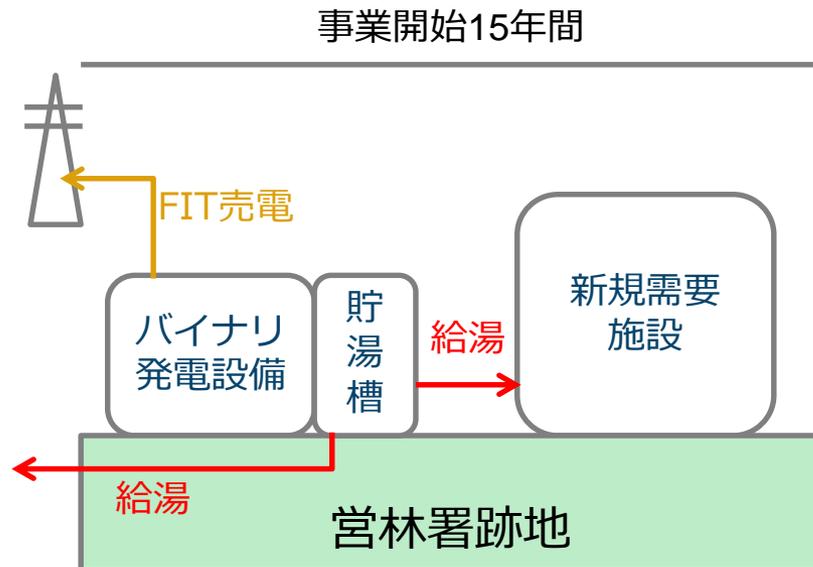
#### 事業協力者の選定フロー



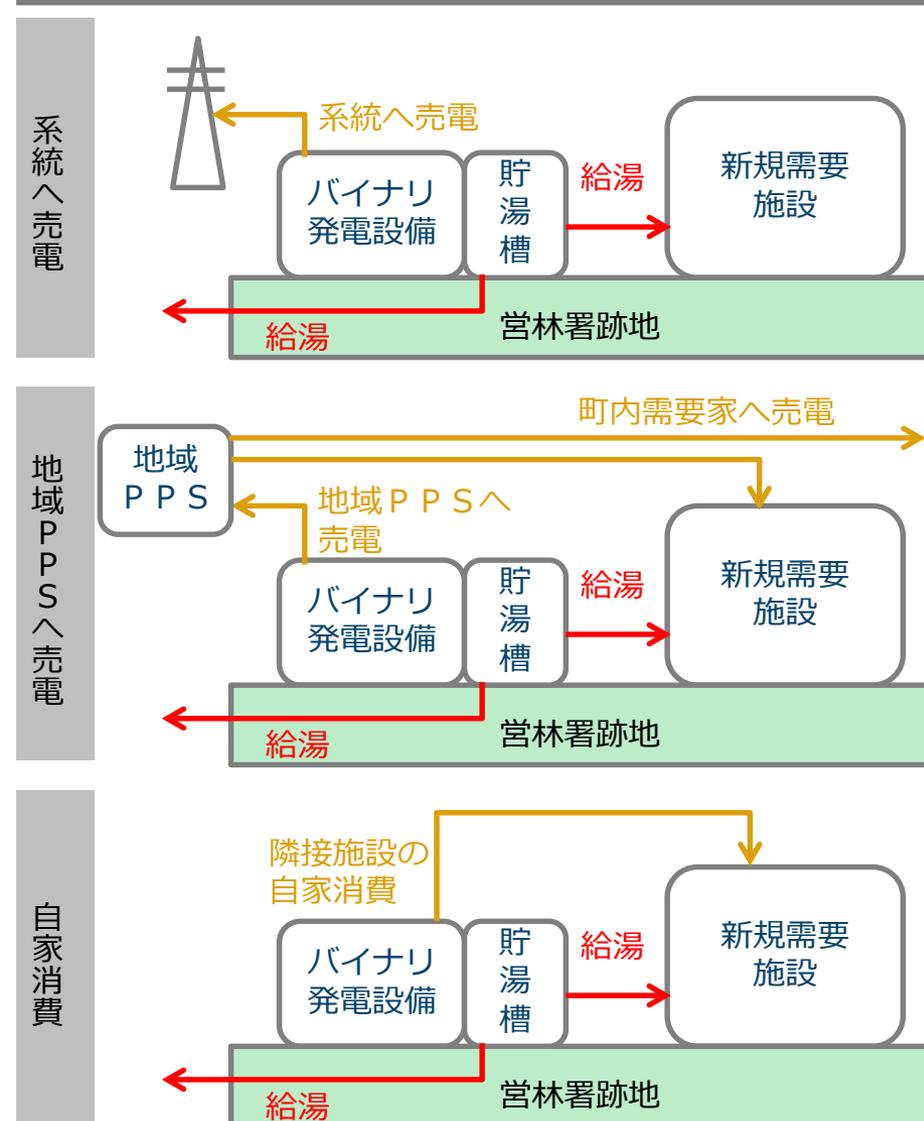
## 4. 業務のポイント②

### (2) ジオ・エネルギー事業実施計画の見直し

- ・昨年度策定した事業計画案に対して、FIT期間終了後の取り扱いなど、事業計画案の追加及び修正を適宜実施する。
- ・フラッシュ及びバイナリによる発電電力をFIT売電の期間後、どのように取り扱うのか（地域PPSの立ち上げを想定するのか）などを検討する。



### 15年後の事業モデル例

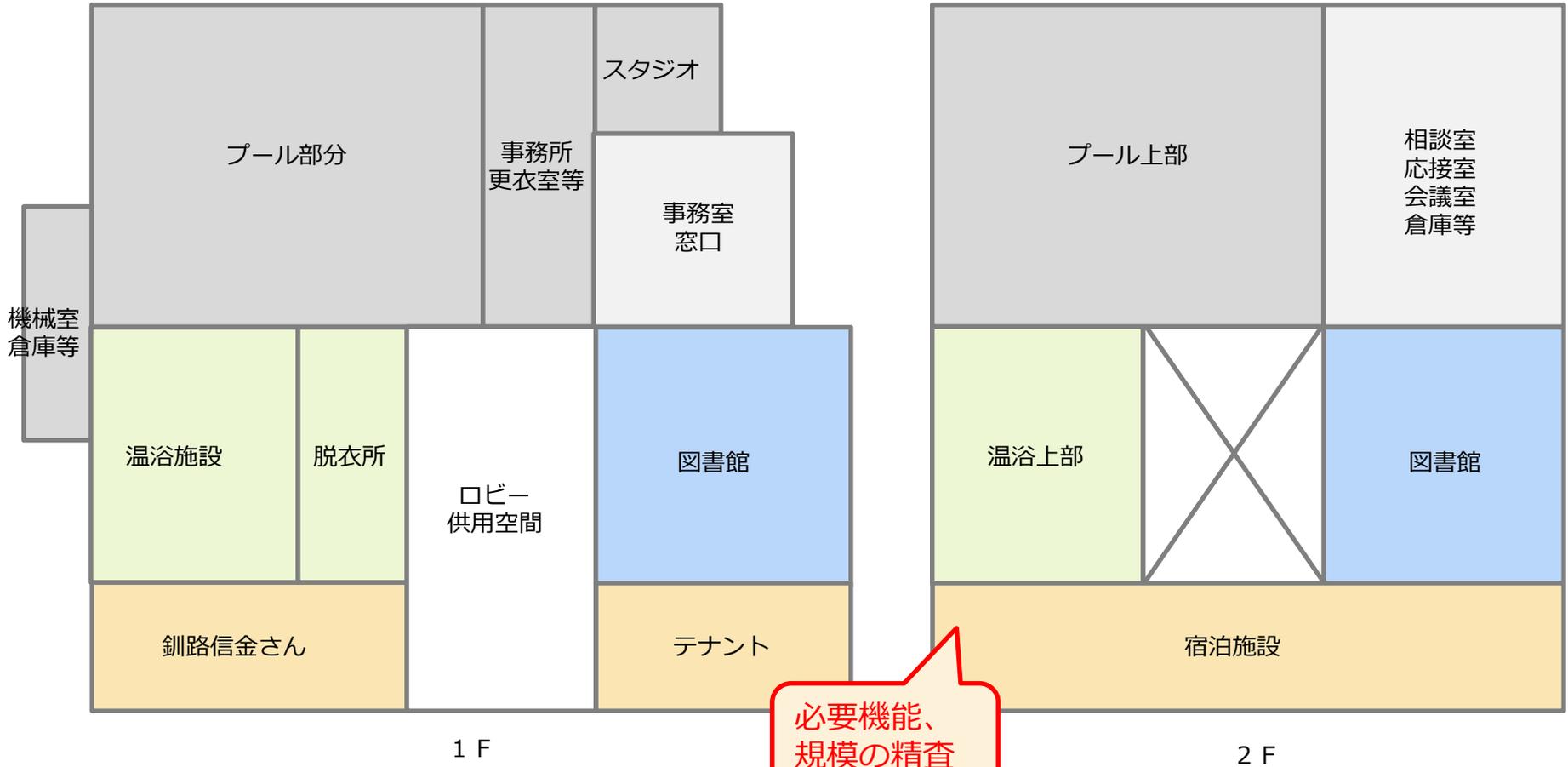


## 4. 業務のポイント③

### (3) 新規需要立地可能性検討業務

- ・バイナリ発電の試掘箇所が営林署跡地になったことから、当該敷地の配置の見直し、及びインフラ敷設の計画等を見直す。
- ・また、民間事業者側の参画意向を把握し、民間活力導入による事業可能性の検証を進めるとともに、事業化に向けた庁内意思決定等を促す。

# (検討状況)複合施設ボリュームスタディ(延床5,500㎡程度)



- |   |  |
|---|--|
|  温水プール : 約1200㎡ (スタジオ含む)   |  共用部分 : 約450㎡     |
|  商工会 : 約650㎡ (保健センター相談室含む) |  民間テナント : 約1,800㎡ |
|  温浴施設 : 約500㎡              |  |
|  図書館 : 約800㎡               |  |

(検討状況)複合施設配置イメージ(敷地面積約1.2ha、建築面積約4,000㎡)



## 5. スケジュールイメージ(確認事項)

- ・コーディネート業務打ち合わせは、全体会議や検討委員会を含め、月1回以上として設定。
- ・JOGMEC申請に向けた前半は綿密に実施。
- ・検討委員会の予定、及びその前に開催する全体会議の予定の確定が必要。

	H30年度委員会等	コーディネート業務打合せ@弟子屈町
6月	6月8日(金) 全体会議①	①6月11日@東京
7月	7月2日(月) 検討委員会① (全体会議②)	②業務打合せ
8月		③業務打合せ
9月	全体会議③	
10月		④業務打合せ
11月	検討委員会② (全体会議④)	
12月		⑤業務打合せ
1月	全体会議⑤	
2月	検討委員会③ (全体会議⑥)	⑥業務打合せ
3月		⑦業務打合せ(報告書とりまとめ・納品)